

令和5年度地域包括ケアシステム構築に向けた進捗状況について

重点事業の進捗状況及び今後の課題について

	事業名	進捗状況	今後の課題
介護予防対策	健康長寿大学開校 (健康長寿推進事業)	<p>第4期豊山町健康長寿大学を10月～3月の計14回コースで実施中。高齢者14名が参加。運動・栄養・社会参加をテーマにフレイル対策に関する講義受講及び運動実践を実施。</p> <p>【参加者の声】</p> <p>参加を機に運動習慣を持つことができた。ICT講座ではマップ、LINE等の使い方を学べた。外に出る機会が持て、健康長寿大学に参加することが楽しみのになっている。</p>	<p>募集枠40名のところ14名申し込みがあった。受講終了後も活動を続けられるよう環境づくりが必要。</p> <p>回数や内容の検討を行う。</p>
	フレイルチェックアンケート (フレイル予防事業)	<p>要介護認定者等を除く後期高齢者 計1,449人に対しフレイルチェックアンケートを送付。</p> <p>・返信数：830人 返信率：57.3%</p> <p>フレイル該当者：288人(34.7%)</p> <p>【支援内容】</p> <p>返信者に、個人の返信結果を反映したフレイル判定報告書、フレイル予防運動のパンフレットを送付。</p> <p>フレイルに該当した人の中で、年齢が高い方から順次保健師訪問を実施し、介護予防教室等への参加を勧めた。</p>	<p>未返信者の内、独居高齢者を優先に訪問や電話で状況確認を実施する必要がある。</p> <p>フレイル予防として普及する場合、前期高齢者に普及、啓発する必要がある。</p>
総合事業	住民主体サロン活動支援事業	<p>高齢者が介護予防活動や仲間づくりのために自主的に行うサロンの支援をおこなう。</p> <p>活動団体：15団体</p> <p>開催回数：196回</p> <p>参加者延人数：2,547人</p>	<p>活動団体を増やすとともに、現在活動中の団体が継続して活動を続けられるよう講師派遣などを通して支援していく。</p>
生活支援体制整備	生活支援体制整備事業	<p>協議体(高齢者支援に携わる方との連携・協働の場)開催方法の検討をおこない、第2層協議体の開催にむけて視察、勉強会をおこなった。</p> <p>愛知県よりアドバイザーの派遣を受け、助言をもらい見直しをおこない、住民が主体となって参加できる協議体の開催に向けて取り組みをおこなった。</p>	<p>住民が主体的に参加できる第2層協議体の開催し、定期開催につなげていく必要がある。</p>

地域ケア会議	地域ケア会議	<p>自立支援型の集合形式で5回開催し、ケースを通して多職種で検討し地域課題の把握、ネットワーク構築、交流会をおこなった。</p> <p>愛知県よりアドバイザーの派遣を受け、他市町村の情報や助言をもらいおこなった。</p> <p>【参加者】</p> <p>医師、薬剤師、理学療法士、歯科衛生士、管理栄養士、ケアマネジャー、サービス事業所、社会福祉士協議会</p>	<p>把握した課題の解決のために、施策形成へつなげていく。</p> <p>自立支援、重症化予防を図る為多職種でのケアマネジメント支援につなげていく。</p>
見守り対策	高齢者安心ネットワーク事業	<p>以下の対象者の内、希望する者に対し、①緊急時に備え緊急連絡情報などを町に登録する、②地域の協力者と情報共有し日常の見守りを実施する制度を開始、12月末現在160名が登録中。</p> <p>○登録対象者</p> <p>65歳以上のひとり暮らし高齢者等</p> <p>○登録情報の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日ごろの見守りを民生委員等の地域の協力者へ依頼。 ※見守りに必要な情報のみ共有 ・緊急搬送時などに町が医療機関等より医療情報や緊急連絡先の問合せを受けた場合に情報提供を実施 等 	<p>介護認定を所持する独居高齢者等の登録を勧奨し、地域住民を含めた見守り体制を構築する。</p>
権利擁護	<p>成年後見制度利用促進事業</p> <p>「豊山町成年後見センター」の設立</p>	<p>今後、認知症高齢者や身寄りがない高齢者の増加に伴い成年後見制度の需要が高まることが予想される。成年後見センターを中心に、成年後見制度の利用促進、利用支援の提供、円滑な運用をおこなう。</p> <p>相談件数：21件、法律相談：15件（12月末時点）</p>	<p>センターの普及。</p> <p>成年後見制度の理解を促す説明会や研修会の実施。</p> <p>関係機関との連携等。</p>